

カメルーン★どうでしょう

2023年11月
カメルーン通信 No.13
JICA 海外協力隊
出町 卓也

C'est mes cours d'anglais.

Bonjour! カメルーンからでまちです。雨季がなかなか終わらない毎日を送っています。ずっと川だと思っていたところが、実は雨が降りすぎてできたものだとか最近気づき、雨の多さに驚いています。

さて、先月岐阜県高山市から二村隊員がカメルーンに着任しました。二村隊員は野菜栽培の分野で、エゼカより北部にあるバンガンテという町に今月から赴任予定です。そんな新隊員の前で、1年間の活動を報告する会を実施しました。発表にまとめ、質疑応答をする中で、自身のこれまでの活動を見つめ返し、ここまでの歩みを振り返ることができました。



左が二村隊員です。Bienvenue !

◇私の授業と子どもたちの様子。

今回は、ここまでやってきた私の活動を紹介します。

今年度も6つの小学校を周り、英語の授業を中心に行っています。担任の先生と相談して内容は決定していますが、主に文法の時間が多いです。カメルーンの英語教科書はすべて英語で書かれており、読み進めていくのが大変です。そこで、できるだけ内容を簡略化しつつ、進め方を定番化して進めています。

最初は①復習です。前回(2週間前)に行った内容をどの程度覚えているか質問します。2週間前なので忘れていたことも多く、「？」マークを浮かべていたり、ノートをこっそり見てどや顔で挙手をしたりしています。時間をおいて確認をすることで、記憶の定着の助けになります。



答えを書いて、できたら見せる! やって行く内に正解者が増えていきます。



次に②今日の内容に入ります。学習内容を確認し合い、フランス語との違いを説明します。日本語と違い、フランス語は英語と同じヨーロッパが起源であるため、似ているところが数多くあります。とはいっても、別言語なので、違いもまた多いです。子どもたちにも活動してもらえよう、持っているミニ黒板を使い、

クイズに答えてもらうような感覚でどんどん進めています。正解が増えてくると、子どもたちの顔もどんどん明るくなるので、見ていて楽しくなる瞬間です。

その後③練習で確認をします。問題をいくつか出し、できた子から採点して返却します。しばらくやっていて感じたことですが、この時に子どもたちの姿は2種類に分かれます。自信満々で一刻も早く見てもらいたい子と、自信がないのでみんなが採点してもらう姿をしばし眺めてからおすおすと出す子です。ただ、どちらも全問正解を狙っているので、満点が取れたら周りに自慢しながら席に戻る姿は微笑ましいです。

最後に④まとめをします。何を学んだか全員で復唱して、授業を終わります。



お互いに書いた答えを見せ合って確認します。



ノートチェックはいつも人だかりができます。

◇授業で大事にしていること。

私の授業に対する目標は『楽しい』です。授業の最初は必ずストレッチから始め、気分をほぐしたり、日本のあいさつをしたりします。時には変顔にも頼り、みんなで笑います。このように直接的に『楽しい』時間をつくることも大事だと私は思います。笑うことでリラックスできて、気持ちの切り替えにも効果的だからです。

また、話している最中に子どもから自然なうなずきが多く出ると、個人的にとっても嬉しいです。私の話が伝わっていることを感じることに加え、きっと興味をもって『楽しく』聞いてくれていると思うからです。

エゼカの先生たちも一緒に笑ったりするだけでなく、私の板書を用いて授業の振り返りをしてくれたり、私の拙いフランス語を分かりやすく言いかえて子どもたちに話してくれたりしてもらっています。これからも楽しく一緒に授業をしていきます。

こうして振り返ってみると、私の授業はこれまで関わってきた岐阜県の生徒のみなさんや先生方との中で積み上げてきたことが大いに生かされていることに気付きました。皆のおかげで、今ここで自信をもって教壇に立つことができます。出会えた感謝を忘れず、引き続き活動を頑張っていきます。

それでは、A bientôt !



対義語はジェスチャーにして一緒に実践。
暗記にも運動にも効果的！



とある質問から出た疑問を補足説明する担任の先生。支え合いながらやっています。